

# オスプレイ飛行再開

## 陸自米軍に追随、木更津で

陸上自衛隊は21日、輸送機V-22オスプレイの飛行を再開した。防衛省は千葉県の木更津駐屯地で同日午前

11時37分、1機がホバリングした後、周辺を飛行したと明らかにした。昨年11月に鹿児島県・屋久島沖で起きた8人死亡の米空軍CV-22オスプレイ墜落事故後、4カ月近く、見合させていた。米軍も14日に沖縄県宜野湾市の普天間飛行場で飛

行を再開しており、陸自が追随した形となつた。=論説面

米軍は事故後、全世界でオスプレイの飛行を停止。今月8日、「特定の部品の不具合」が事故原因だとしながら、詳細を明かさないまま停止措置を解除した。防衛省は13日、陸自と在日米軍の準備が整った機体は14日以降に順次飛行を再開すると発表していた。

木更津駐屯地では強い北風が吹く中、1機が大きなプロペラ音を響かせて浮かび上がった。近くで見ていた千葉県袖ヶ浦市の無職糟谷富男さん(70)は「原因がはつきりしないままの再開は困る。絶対に事故がないようにしてほしい」と表情を露らせた。

防衛省は当面、周辺空域を飛行し、隊員の技量を回復した上で次の段階の訓練に進む計画だとしている。

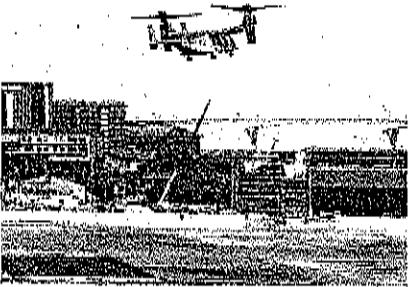
幕僚長は21日の記者会見で

機導入予定で、最終的に建設中の佐賀駐屯地(佐賀市・仮称)に配備する計画。木更津に14機を暫定配備中で、このうち2機は飛行見合わせに伴い佐賀県の自達

陸自はオスプレイを計17機導入予定で、最終的に建設中の佐賀駐屯地(佐賀市・仮称)に配備する計画。木更津に14機を暫定配備中で、このうち2機は飛行見合わせに伴い佐賀県の自達

玉城デニン知事と面会し「沖縄でのオスプレイの安全運用を確信している」と全運用を確信している」としたが、知事は墜落事故の原因に関する十分な説明がなかつたとして遺憾の意を示した。

原駐屯地と熊本県の高遊原分屯地ことじまつていて、在沖縄米軍トップの沖縄地域調整官ロジャー・ターナー中将は21日、沖縄県の



陸上自衛隊木更津駐屯地を離陸する輸送機V-22オスプレイ=21日前、千葉県木更津市で